

評価委員会総合評価

研究課題名：二重偏波レーダーを用いた火山噴煙の解析的研究

評価委員

委員長：竹内義明

委員：高薮出、大野木和敏、石原幸司、前田修平、山田雄二、青梨和正、
鈴木修、石井雅男、橋本徹夫、齋藤誠、行本誠史、丸本大介

評価年月日：令和2年2月17日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 可 否
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

本研究は、地方官署における二重偏波気象レーダーを用いた噴煙解析技術の普及、本研究を通じた気象レーダーを用いた火山噴煙解析分野（コミュニティ）の裾野拡大・職員のスキルアップを目指した研究課題である。火山噴煙の解析について、xrainのMPレーダーに加えて二重偏波レーダーを利用することで、パイオニア的な研究となりうる。

成果は火山監視業務に直接活用できるものであり、業務貢献が期待できる。雨灰判別ができれば大きな成果となると期待できる。今後のさらなる二重偏波レーダーの活用に向けて成果を期待したい。

一方、地方官署の方が得られた知見をきちんと共有できるように配慮して進めて頂きたい。

なお、研究の実施にあたっては、以下の点について留意して進めて欲しい。

- ・雨と降灰の判別には別途検証が必要であり、二重偏波レーダーのデータで雨と降灰が混ざっている事例でどのように見えるかに集中した方が良い。
- ・地方共同研究の研究分担者に作業を明示的に示しておく、効率的に進められるのではないかと。発見学習的な要素が強い研究の進め方となっているため、研究の進め方に注意が必要である。
- ・本成果の活用先として、桜島以外の火山への適用も可能であることから、解析結果や解析ツールなどについて積極的にドキュメント化を行い、広く利用されることを目指してもらいたい。
- ・二重偏波レーダーについての知見は防災科学技術研究所や土木研究所も有しているので、気象研究所担当者が知見を整理して地方官署担当者に共有して頂きたい。